

期間：2012年3月13～15日
場所：東京理科大学神楽坂キャンパス

第13回年会

『薬学生の集い』を開催

初めての試みとしてポスターセッションを行いました。このポスターセッションは日本薬学

生連盟加盟校の活動内容、連盟の学術部門、各委員会の活動が発表されました。抗がん剤、子宮頸がん、ウィルナー症候群、救急医療、漢方、お薬教室、国際交流や公衆衛生など多岐にわたる内容でした。

4部門(表)に分かれて参加者による投票によって順位をつけ、賞品を出しました。一番好評だったのが、立命館大学の「伊吹山と薬草の里」でした。実際に歩いて伊吹山の薬草の分布について調べたり、春日村で開催された伊吹山薬草サミットの内容、「NPO法人 山菜の里いび」理事長の小寺春樹さんのインタビューなど多岐にわたる内容でした。イラスト、写真、地図などを多用し、参加者の目を惹きつけました。

このポスターセッションを通じて、各加盟校の年会の参加意欲向上や薬学生による学術的意味合い、自分たちがやってきた活動について、全国の薬学生に認知していただくこと

「第13回年会『薬学生の集い』～雪解けに芽吹くもの～薬学生は3.11に何をみるか～」が開催され、北は北海道、南は熊本まで総勢260人の学生に参加いただきました。3日間にわたって、30を超えるワークショップ、セミナー、イベントを開催しました。ここでは3つに絞り、特に印象深かった内容を紹介させていただきます。

表 ポスターセッションの部門と受賞した大学・委員会

名前	説明	受賞大学・委員会
Sensetional award	社会に訴えかけるような賞	長崎国際大学(救急医療)
Humorous award	人を惹きつける魅力的な賞	立命館大学(薬草)
Scienstific award	研究方法・内容が優れているポスター賞	東京理科大学(抗がん剤)
APS-Japsn award	上記3つの賞の投票においての総合得票数が最も多かったポスター賞	立命館大学(薬草)
Best action award	もっとも素晴らしい活動をした委員会に与えられる賞	国際交流委員会(IPSF、APPOに関する内容)

ができました。今年度は学術的意識の向上のための活動を活発化させる予定です。

「薬学生への想い～未来を担う君たちへ～」と題して日本薬剤師会会長の児玉孝先生にご講演をいただきました。特に印象に残ったことは災害時における児玉会長の行動力です。東日本大震災後、当初、役所が提示する書類に薬剤師の文言がありませんでしたが、日本薬剤師会として早い段階から薬剤師の派遣を厚生労働省に働きかけられ、薬剤師会会員による現地派遣が実現したそうです。

阪神淡路大震災や新潟中越地震ではできなかった薬剤師による処方提案が、今回の震災ではできるようになりました。医師が診察した後、薬剤師自らが医薬品を提案・選択し、供給することができ、薬剤師の専門性を発揮することができたのです。

そのため、災害時に薬剤師の必要性が認知されるようになりました。国が薬剤師の必要性を十分に理解しておらず、これまでは被害に遭った方々を支援することができなかった現状があります。もっと薬剤師、薬学生が声を上げて活発に行動していくよう気持ちが高まった講演でした。

『本音で語る!! 薬学生 night』として、薬学生を中心に Ustream で生配信を行いました。ゲストとして大震災で薬剤師としてご活躍された水八寿裕先生をお招きしました。ここでは様々なお題



から薬学生が本音で語りました。特に印象に残っているのは医学・看護学・栄養学部など他の医療関係学部の人と一緒に講義や、討論をして交流したいというニーズが非常に高かったことです。

まずは、それぞれの学部のカリキュラムを知ることから、どの分野ができないのか、どの分野が特化しているのかということを理解して、歩み寄ることが必要ではないかという意見が出ました。また、「コ・メディカル」と医師と他の医療従事者を分けるのか? という疑問を投げかけました。日本癌治療学会では「コ・メディカル」という用語の使用は、(1)適用される職種の範囲が不明確、(2)喜劇を意味する「comedy」の形容詞である「comedical」と解釈される和製英語である、(3)医師とほかの医療職の上下関係を暗示させ、対等であるべきというチーム医療の精神に反することから不適切であるとのことです。現在、「コ・メディカル」という単語は自粛傾向にあるようです。

このイベントを通じ、自分たちがお互いに理解し合えるように相手を知ること、自粛しないでとにかく自分で飛び込んでみる、自分がおかしいと思ったことは意見を言うことから、始めようと思いました。

全国各地の多くの薬学生とワークショップやイベントを通して交流し、一緒に学ぶことができました。限られた時間の中で自分を表現することや自分の想いを伝えること、人と違う真逆な考えを受け入れることなどを学びました。ワークショップの運営や人の呼び込み、広報活動など、人を動かすという苦労がありましたが、楽しいとも感じられました。多くの学生が年会をより良いものにしようという目標のもとに、全力を注いで成し遂げたことに至上の喜びを感じられ、これまでにない充実した3日間でした。

報告者：吉村 元宏(日本薬学生連盟広報委員長、広島国際大学5年)



ファーネット2013

「薬剤師を目指す薬学生」のための求人情報サイト!

西日本中心の求人を100社以上掲載 & 病院情報も掲載!



ファーネットBOOKプレゼント! PRESENT CAMPAIGN
会員登録者にはもちろん薬局に特化した就活情報紙「ファーネットBOOK」をご宅にお届けいたします!(年2回発行)

今すぐアクセス!

<http://www.pha-net.jp/>

ファーネット

検索



株式会社ユニヴ UNIV CO., Inc.
<http://www.univ.co.jp>

大阪本社 〒530-0047 大阪市北区西天満 3-4-15 公冠ビル 2F
東京支社 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-2-2 アマンド赤坂ビル 7F

TEL: 06-6361-3601
TEL: 03-5549-2420

名古屋支社
九州支社

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-14 大和ビル 7F
〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-7 天神クリスタルビル 14F

TEL: 052-533-0361
TEL: 092-721-1027

